

学籍番号 ()

氏

氏名 ()

年齢	歳	性別	身長	cm	体重	kg	喫煙・飲酒習慣
疾患名			手術日	術式		麻酔	
既往歴					内服薬		
入院までの経過					家族		
生活背景 (仕事・社会的役割など)					ADL の状況		
呼吸機能							
術前評価							
(生体反応含め)							
循環機能							
術前評価							
(術後予測)							
止血機能							
術前評価							
(される合併症、)							
栄養状態							
術前評価							
(影響について)							
腎機能							
術前評価							
(も、ここで)							
肝機能							
術前評価							
(述べて)							
感染症の状態							
術前評価							
(ください)							

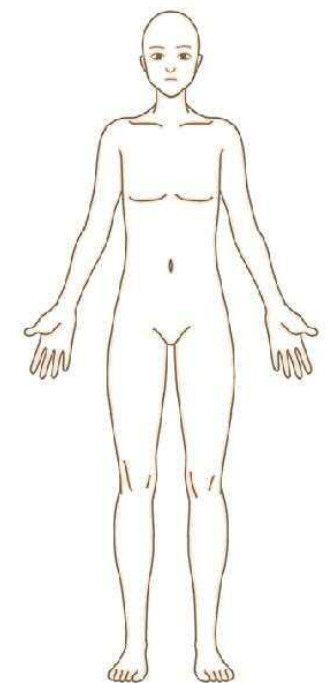
成人看護学実習 看護記録Ⅱ <全体像> A3
() 氏 () 歳

病名 (

) 術式 (

学籍番号 () 氏名 ()
) 麻酔の種類 ()

- ☞手術部位・状態・創部・挿入物・付属物を右下のイラストに描こう
- ☞術後の患者の変化も全体像に記載し、問題点抽出・変更につなげよう



看護上の問題点 #		
立案	解決目標 及び 期限	具 体 策

看護記録V

学籍番号() 氏名()

～実習の学び～

一日の実習計画表

月 日 実習 () 日目 { 受けもち () 日目・病棟フリー・HCU・() 外来 }

学生氏名 :

担当看護師 :

本日の目標 (目的も含めて記入する。)

行動計画・実施したいケア・見学したい処置等

8:30

9:00

10:00

11:00

12:00

13:00

14:00

15:00

実施・評価

- ・ 具体的場면을挙げ、その意味づけや根拠を考えたり、そこから学んだことを記述する。
- ・ 受けもち実習の手術前は目標に沿って SOAP で記入する。(プラン立案以降は実習の学びを記入する。)

アドバイスいただいた内容 (学生記述)

R6～成人看護学実習 手術見学 実習記録

学籍番号 () 学生氏名 ()

受けもち患者氏名： (←鉛筆書きでフルネームを記入し、返却された後消すこと)

手術予定日： 予定術式： 担当看護師： _____

見学目的

見学を通して学びたい内容 (看護師目線ではなく、患者の生体反応を視点に記述)

↑手術前日夕方までに手術室へ提出、それまでに教員が一度目を通す

用紙裏面に手術見学後レポート記載

学習活動	具体的な評価規準	観点	評価資料	評価基準			
				すばらしい	よい	もう少し	今一步努力を要する
急性期にある対象の経過や特徴を理解する。	急性期を対象を、事前学習を活用しながら包括的な視点で捉えることができる。	対象理解 倫理観	事前学習 実習記録ⅠⅡⅢⅣ 1日の実習計画表 ミーティングの 発言 面接 2 0	望ましい姿をイメージしながら、急性期にある対象の特徴を理解して、看護の方向性を考えられている。 1 0	急性期にある対象の特徴を理解している。 5	急性期にある対象の特徴を理解するための学習が不十分である。 3	
急性の経過に合わせた看護援助を立案し、実施する。	根拠を明確にして、対象の望ましい姿に向けた看護計画を立案し、実施している。	実践力 調整力 倫理観	術前後の患者支援 実習記録ⅢⅣ 1日の実習計画表 実習状況（調整・ 出欠席） 2 5	根拠を明確にして、対象の望ましい姿に向けて、急性の経過に合わせた個別性のある看護計画を立案し実施している。 2 0	根拠を明確にして、対象の望ましい姿に向けて、急性の経過に合わせた看護計画を立案し実施している。 1 0	看護計画を立案し実施している。 5	
実施した援助について評価・修正する。	実施した援助を、望ましい姿に近づいているか評価し、より対象の経過に合わせた援助に発展させている。	実践力 探求心 倫理観	実習記録ⅠⅢⅣ 1日の実習計画表 ミーティングの 発言 面接 出欠席 2 0	実施した援助を、望ましい姿に近づいているか評価し、より対象の経過に合わせた援助に発展させている。 1 5	実施した援助を対象にとって安全・安楽であったか振り返っている。 5	自分の反省や取り組みについて表現している。 3	
急性期にある対象との関わりを通して、急性期の看護について表現する。	急性期における自己の看護観を述べることができる。	実践力 探求心	実習記録Ⅴ ミーティングの 発言 2 5	急性期にある対象との関わりを通して、急性期看護についての考えを、文献等を利用して表現している。 2 0	急性期にある対象との関わりを通して、急性期における自己の学びを表現している。 1 0	体験や指導者の助言のみ表現している。 5	
看護の対象や仲間の尊厳、安全を護り、医療者として誠実に行動する。	医療者として常に看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動がとれている。	倫理観	日常の行動 実習の様子 課題等提出物 出席状況 面接 1 0	医療者として看護の対象や仲間の尊厳、安全を護るために適切な行動を取り、仲間の模範となりチームをけん引している。 5	看護の対象や仲間の尊厳、安全を護る行動を心がけている。至らない時は学び、行動を変えている。 3	自分の行動が看護の対象や仲間を危険に曝している。 0	

実習指導者助言

欠課時間

() 時間 / 90 時間

	学生	指導者
中間評価	点	点
総合評価	点	点

実習指導者サイン

担当教員サイン